

■「玉名市景観計画」見直しに係る会議・意見集約一覧

項目		日程	場所	備考
○玉名市のまちづくりに関するアンケート調査		令和3年6月～7月	玉名市全域	対象：18歳以上 2,000人 回収率：41.1%
○景観審議会日程	R3 第1回	令和3年9月27日	玉名市民会館第1会議室	都計審合同
	R3 第2回	令和4年3月29日	玉名市民会館マルチホール	都計審合同
	R4 第1回	令和4年10月11日	玉名市民会館第2会議室	
	R4 第2回	令和4年12月23日	玉名市役所4階会議室	都計審合同
○庁内検討会議日程	第1回	令和3年8月23日	玉名市役所4階会議室	
	第2回	令和3年12月21日	玉名市役所4階会議室	※景観協議は無し
	第3回	令和4年2月28日	玉名市役所4階会議室	
	第4回	令和4年8月22日	玉名市役所4階会議室	
	庁内ヒアリング	令和3年7月～8月	—	ヒアリングシートによるヒアリング
○景観形成推進地区の指定・区域変更予定地区説明	伊倉地区	令和4年5月28日 令和4年6月22日	玉名市役所都市整備課 伊倉上町公民館	伊倉校区区長会長 該当地区4区長
	大浜地区	令和4年6月5日	大浜町ふれあいセンター	大浜地区全13区長
	玉名地区	令和4年6月7日	玉名校区区長会長宅	玉名校区区長会長
	その他	広報たまな7月号	—	伊倉・大浜・玉名地区全世帯に見直し内容の概要を配布
○住民説明会		令和4年8月25日	玉名市民会館第1会議室	第1部 14：00～ 第2部 19：00～
○パブリックコメント		令和4年10月20日～ 令和4年11月21日	市ホームページ 市都市整備課 市各支所市民生活課 市情報公開窓口（総務課）	
○その他	第1回景観交流会	令和3年11月3日	玉名市文化センター大研修室	
	第2回景観交流会	令和4年6月26日	伊倉地区・大浜地区	景観バスツアー
	第3回景観交流会	令和4年10月10日	玉名市文化センター大研修室	
	第4回景観交流会	令和4年11月27日	玉名市文化センター大研修室	

庁内検討会議、景観審議会、住民説明会、パブリックコメントの意見対応

No.	会議名等	項目	内容	回答、対応	状況
1	第1回庁内検討会議	太陽光発電設備	土地利用現況のなかで「メガソーラーに転用」という表現があったが、企業の敷地内で事業用地がメガソーラーに変更されたものである。誤解の無いような表現としてほしい。	民間の事業活動に配慮の上、景観上の見え方という観点で、表現を検討する。	済 →第1回景観審議会の資料では「工業用地内で太陽光発電設備の設置」と表現を修正 (景観計画には掲載なし)
2	R3第1回景観審議会	小岱山の景観	景観見直しにおいて、小岱山についても検討してほしい。小岱山は全国的にも誇れる山。	現計画でも小岱山を含め、市全域を眺望景観保全地区として位置付けている。玉名市の眺望と景観を維持する大切な山である。眺望景観とあわせて、アクションプランのなかでも、景観づくりの取り組みも沢山あるので、それらも鑑み、書きぶりを検討していく。	済 →現行計画同様に、玉名らしい景観資源として示し、アクションプランのなかでは山の景観美化や活用について言及 →新玉名駅周辺地区[景観形成推進地区]の基準のなかで、「山の稜線に配慮」と規定
3	R3第1回景観審議会	自然環境の維持・管理	アンケート結果からも、防災、雇用の確保にもつながるため、自然の「維持」ではなく、「維持・管理」という言葉を入れて欲しい。	維持管理をしていく為に、まず活用する必要がある。今ある農地や自然を含めて、どう活用していくかが重要。景観計画では、行政として取り組む管理の施策、地域住民の方が住民として取り組む活動、企業が取り組む活動も整備している。それも踏まえて、アクションプランでは行政と住民の協働で、住民活動の支援施策なども含めて、考えていくことが必要である。	済 →アクションプランで、行政と住民の協働の取組み、支援等について記載
4	R3第2回景観審議会	新玉名駅周辺における今後の都市計画	新玉名駅周辺地区は、福岡市、熊本市への交通利便性が高いため、商業が繁栄しづらい。当地区は、市のよさ（温泉やのどかな田園景観など）を活かした開発をすべき。経済性からは高層にすべきだが、文化財も考慮すべき。高さ制限含め、今後どうなっていくのか、今後の都市計画について聞きたい。	新玉名駅周辺地区の開発については民間企業と調整中である。当地区の景観形成基準のなかで、田園、山並みの眺望への配慮を記載しており、事業者に配慮して頂く材料としていきたい。	済
5	R3第2回景観審議会	新玉名駅周辺における今後の都市計画	新玉名駅周辺地区は、九州新幹線の線路の南北で開発の度合いを分けてどうか。南側には田園を残し、北側では高層も許容して開発するなど。小岱山は重要な観光資源にもなる。	検討	済 (新玉名駅周辺地区の開発については民間企業と調整中であり、具体的な開発の方針などは未定。景観計画では、新玉名駅周辺等整備基本計画の区域一体を推進地区として位置づける。)
6	住民説明会(第1回)	のり面等の管理、空き家・休耕田の問題	のり面の管理、空き家、休耕田等の問題が顕在化しているが、その問題解決をどのように考えるか。景観計画改定よりも優先して、既存施設のメンテナンス等の問題に取り組むべきではないか。	景観計画は新しく作る・整えるだけでなく、既存施設等の維持管理も含むものである。所有者等の意識醸成を図り、良好な維持管理の実施につながることを求められる。公園の管理等、地域の皆さんと協働で取り組むことができることも多い。景観計画を、良好な景観まちづくりに向けた1つのきっかけとしたい。	—
7	住民説明会(第1回)	既存施設の維持管理	・空き家が多いが、解体して更地にする方が、固定資産税が高つく。その辺りはどの考えるか。 ・解体には費用等がかかる。空き家を改修して活用できるようにしてはどうか。	・固定資産税の上昇も老朽危険空家の除却が進まない要因の一つ。解体費用は、玉名市として補助金などの支援策、それから空き家にさせない対策を防災安全課なども連携して取り組んでいる。解体に関する支援補助や相談窓口があるので、市へご相談頂きたい。 ・空き家対策基本計画を策定し、適正管理・活用に向けて、取り組んでいる。	—

庁内検討会議、景観審議会、住民説明会、パブリックコメントの意見対応

No.	会議名等	項目	内容	回答、対応	状況
8	住民説明会 (第2回)	既存施設の維持管理	道路は草ぼうぼうで自転車等は通れない状況。河川敷はきれいに整備されているので、道路もきちんと管理してほしい。歩道の点字ブロック上に「熊本県屋外広告物条例」の標識が立っていて、歩きづらい。大きな方針を示すマスタープランには納得しているが、日頃の生活の利便性・快適性を高めるよう考えてほしい。	道路をはじめとした公共施設の維持管理については、市としても対策が必要と考えている。市民のみならずにも協力頂きながら、持続的に維持管理できる仕組みをつくりたい。景観計画では景観の意識醸成を図り、そのような道路の維持管理、使い方を守る意識（路上駐車しないなど）、良好な景観づくりにつなげたい。	— (アクションプランで、行政として道路等の維持管理に対する方針、および行政と住民の協働の取組み、支援等について記載)
9	住民説明会 (第2回)	既存施設の維持管理	草が繁茂し、見通しが悪く危険な道路がある。10/2には除草作業予定があるが、対応が遅いので早くしてほしい。安全面のほか景観にも悪影響だと思う。	景観面もあるが、安全面は特に重要である。道路維持担当課とも情報共有する。	—
10	住民説明会 (意見シート)	景観計画見直しに関する意見	地域の景観はその地域の住民の協力なしに守り得ない。行政が音頭をとって計画を進めようとしても、人口減少と高齢化によって疲弊した地域社会にどれだけの原動力があるのか疑問。自分の住む地域に対する愛着は大切。地区では、個人の土地の草が伸びて道路通行の妨げになっている場合もあるが、その土地の管理者は遠く離れたところに住んでいる場合が多い状況。人口減少と高齢化を都市計画の中でどう取り組むのが最重要課題ではないか、これは、景観計画に限ったことではない。	玉名市では、人口減少と高齢化のなかでも持続可能なまちづくりに取り組んでいる。景観計画では、景観への関心・意識を高め、地域の愛着向上や、地域の皆さんや団体、行政との協働の取組促進、既存施設等の良好な維持管理の実施等につなげるものとした。また、「景観」が単独で目的になりうるものではなく、管理されていない空家空き地の解消や耕作放棄地対策等、様々な施策との連携を図っていく。	—
11	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	人口ビジョンのデータ	「平成31年3月発表した「人口ビジョン」とありますが、最新の発表は令和2年3月です。数値の確認も併せてお願いします。	対応する。	済 →令和2年3月公表の「人口ビジョン」データへ更新
12	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	アクションプラン	水辺空間を活用したイベント等の実施 「今後もこれら活用や…」（「今後」が重なる） →「今後もこれら水辺空間の活用や…」	対応する。	済
13	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	アクションプラン	SNSを活用した情報共有・発信 3行目「拡散」という表現が、あまり良い印象を持たない人もいるので「広げてくとも…」とした方がいいのではないか。	対応する。	済
14	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	鍋松原海水浴場	鍋松原海水浴場は閉鎖。	対応する。	済 →鍋松原海水浴場の表記は削除。鍋松原海岸と表記
15	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	県道表示	県道表示（図と本文で道路番号と道路名の混在）わかりづらいと思います。	対応する。	済 →県道（道路名）表記を統一

庁内検討会議、景観審議会、住民説明会、パブリックコメントの意見対応

No.	会議名等	項目	内容	回答、対応	状況
16	第4回庁内検討会議（意見集約シート）	域外連携	連携について、小天東と熊本市西区河内町野出を含めた域外連携も必要ではないだろうか。（県道1号、草枕、広域農道）	対応する。	済 →景観形成方針（眺望点）に、「近隣市町との景観の連続性を意識した連携を図っていきます。」を追記
17	R4第1回景観審議会	景観の表彰制度など	今年、景観交流会に参加したが、市民の熱意を感じたので、景観の表彰制度などを設けてはどうか。	表彰の考え方は良いと思う。より効果的なやり方を検討していきたい。	— (別途検討)
18	R4第1回景観審議会	熊本藩高瀬米蔵跡、文化財	熊本藩高瀬米蔵跡（高瀬御蔵跡、高瀬船着場跡、晒船着場跡）は、国指定の史跡になる予定なので、文化財の一覧も更新してほしい。 p24表内（人文的×自然的）に、文化財の視点を追加してほしい。	対応する。	済 →「その景観を構成する要素は、守り継ぐべき重要なものとして、国や県、市により文化財として指定・登録されているものを含め、長い歴史の中で守り伝えられてきた文化的な財産が、人々の暮らしに溶け込んでいるものと言えます。」を追記
19	R4第1回景観審議会	既存施設の維持管理	住民説明会では、空き家や耕作放棄地、維持管理についての意見が出ている。直接的に景観計画に記載するものではないが、市民にとって関心が高い事柄なのでアクションプランなどに掲載してはどうか。	現行計画からアクションプランには掲載しており、表現を検討したい。また、今後も、取組を推進していきたい。	済 →アクションプランに記載
20	R4第1回景観審議会（意見集約シート）	玉名温泉	昔の温泉街はみやげ屋もなくなり、跡には住人が住んで、外装も統一感はなく温泉街の情景はありません。 現在、温泉街には観光客があつまる拠点がない。市営玉の湯も古く、利用も少ない状況です。 山鹿のさくら湯、草津温泉の御座之湯のような浴場立替を検討してはどうか。	—	— (浴場建替えについては別途検討？ 玉名温泉街地区は、これまで同様に景観形成準備地区に位置付けるとともに、アクションプランに記載しているような景観づくりの取組を推進する。)
21	パブリックコメント	行政の役割	行政役割としての方針が見えてこない。 例えば、推進地区に指定されていない地域への対応、農免道路、河川、公園などの雑草、道路白線の管理等。 県、国の役割に対して、自治体として整備の実施を働きかける役目がある。慣例を見直してスピード感ある対策を実施する事の明記をご検討してほしい。	対応する。	済 →市全域を景観計画区域に位置付けており、将来像に向けた景観づくりに引き続き取り組む。 →これまでも行政として維持管理、景観づくり推進に取り組んでいますが、よりわかりやすく、アクションプラン冒頭に行政としての方針を追記する。
22	パブリックコメント	区役	「区役」の更なる躍進を明記してほしい。ある程度行政でガイドラインを作成してはどうか。 参加世帯の不平等や、炎天下の長時間 危険作業、性別による参加制限、管轄外の作業などに、不満を持つ住民が多い。 各校区の活動へ敬意を表し市民に周知 、行政と区役の作業エリアを明確化、 飲料水や燃料などの予算拡充、作業エリアの点検・見直しなどが想定。 区役は地域コミュニティに関わる大切な行事であり、景観への意識の向上の原点ともいえる。 以上の事を構築するために区長と共に行政にリードしてほしい。	別途対応	—